

令和5年度 第1回糸島市教育委員会会議会議録

(日 時) 令和5年4月27日(木) 13時30分から14時38分まで

(会 場) 糸島市役所 本館3階 庁議室

(出席委員) 西 憲一郎委員(職務代理者)、松尾 実恵委員、
宗 聖子委員、山口 幸美委員

(事務局出席者) 家宇治 正幸教育長
小嶋 智嗣子ども教育部長、成吉 伸一教育総務課長、吉永 政博学校教育課長、
高橋 桂一生涯学習課長、福田 貴史学校教育課課長補佐兼教育管理係長、中
村 悠毅学校教育課教育支援係長兼指導主事、安部 祐子学校教育課教育指導
係長兼指導主事、野口 順也学校教育課主幹兼指導主事、金子 剛教育総務課
総務係長

(傍聴人) なし

1 会議事項

- (1) 会議録署名委員の指名
- (2) 会議録の承認
- (3) 教育長の報告
- (4) 議事

議案第1号 糸島市立図書館協議会委員の任命について

2 報告事項

- (1) 糸島市教職員の指導上の措置の実施について
- (2) 令和4年度糸島市教職員の時間外在校等時間の実績について
- (3) 令和4年度糸島市立中学校第3学年の進路状況について
- (4) 令和5年度学校教育課事業推進計画について
- (5) 令和5年度糸島市教育センター教員研修事業について
- (6) 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について

3 その他

- (1) 各課業務の主な取組状況及び課題について
- (2) 教育委員から
- (3) その他

4 開 会

(家宇治教育長)

本日の会議は、定足数に達しています。よって、本日の会議は成立いたしました。

これより、令和5年度第1回糸島市教育委員会会議を開会いたします。

(1) 会議録署名委員の指名

(家宇治教育長)

令和5年度第1回糸島市教育委員会会議の会議録署名委員に、糸島市教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、宗 委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

(2) 会議録の承認

(家宇治教育長)

令和4年度第12回糸島市教育委員会会議の会議録の承認について、お諮りいたします。

事前に配付しています会議録の記載事項につきまして、何か訂正事項等がありましたら、ご指摘をお願いいたします。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

ご異議が無いようですので、会議録は承認されました。

松尾 委員におかれましては、会議終了後、会議録への署名をお願いします。

(3) 教育長の報告

(家宇治教育長)

それでは、私の方から報告をさせていただきます。

まずは、小中学校の入学式に出席いただき、ありがとうございました。

姫島小学校の入学式は、入学式前に新入生がインフルエンザに罹患したため、25日に延期となり、先日、無事、終了しました。どの学校も新入生を迎え入れ、新年度の教育活動がスタートしています。

2点目が、新型コロナウイルス感染症への対応についてです。ご存じのとおり、5月8日から、2類相当から5類に変更となります。これを受けての学校での対応については、後ほど、学校教育課長から説明させます。

次に、教職員の人事異動についてです。3月の会議時に人事異動の内示をお示ししましたが、その内容のとおり、辞令が交付されました。これにより、新しい陣容で各学校がスタートしています。

それから、4月の管内教育長会議で配付された資料をお配りしていますので、ご覧いただきたい。かなりの量がありますので、個別説明は省きますが、5頁をご覧ください。福岡地区学力向上プランについてです。それぞれの教科における、福岡教育事務所での指標が示されていますが、ご存じのとおり、福岡教育事務所管内の市町は、県内において高い状況にあります。このことから、福岡教育事務所での指標は、全て高い数値が設定されています。しかしながら、本市においては、まずは、全ての学校で国の平均を上回ることを指標として取組みたいと思っています。

これで、私からの報告を終わらせていただきます。
何か、ご質問がありましたらお願いします。
無いようでしたら、次に移りたいと思います。

(4) 議事

(家宇治教育長)

それでは、議事に移ります。

議案第1号 糸島市立図書館協議会委員の任命について を議題といたします。
生涯学習課長から提案理由及び議案説明を行います。

(高橋生涯学習課長 説明)

(家宇治教育長)

説明が終わりました。

質問並びに意見がありましたら、お願いいたします。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようですので、質問並びに意見を終結いたします。

これより、本議案に対する採決を行います。

本案に対し、賛成の委員の挙手を求めます。

(委員全員) 挙手

(家宇治教育長)

挙手全員であります。

よって、議案第1号 糸島市立図書館協議会委員の任命については、原案のとおり可決
されました。

(5) 報告事項

(家宇治教育長)

議事が終了しましたので、報告へ移ります。

報告① 糸島市教職員の指導上の措置の実施について を両課長から報告をさせます。

(成吉教育総務課長、吉永学校教育課長 報告)

(家宇治教育長)

何かご質問がございましたら、お願いいたします。

(西委員)

説明資料を見ると、記入も保管も保護者が行うこととなっているが、何故、保育園から提供された資料がノートに綴じられていたのか。

(吉永学校教育課長)

学校側は、保護者から就学サポートノートをお借りし、ノートをコピーし、コピーしたノートを保管しています。今回の事案では、この学校保管のノートのコピーに、保育園が独自に作成し、学校へ提供された資料が綴られていました。

(家宇治教育長)

他にありませんか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようなので、次に移ります。

(家宇治教育長)

次に、報告② 令和4年度糸島市教職員の時間外在校等時間の実績について を教育総務課長から報告をさせます。

(成吉教育総務課長 報告)

(家宇治教育長)

何かご質問がございましたら、お願いいたします。

(山口委員)

これらのデータを、どのような方法で集計されていますか。

(成吉教育総務課長)

毎月、各学校から個々人の時間外在校等時間を報告いただき、市教委事務局で取りまとめています。

(山口委員)

パソコンを使って、個々人の時間が市教委に届くようなシステムなのか。それともタイムレコーダー方式なのか。どのようにしているのか。

(吉永学校教育課長)

教職員の自己申告になりますが、出勤時と退勤時にパソコンで打刻し、これを毎月、集計し、紙で提出を受けています。

(成吉教育総務課長)

来年度からは、導入を予定しています校務支援システム内のシステムで管理、報告を受ける予定となっています。

(西委員)

資料には、全小中学校の教職員の職種別の割合が示されていますが、これらのデータについては、自校のみの状況を確認できるのか。

(成吉教育総務課長)

資料については、教育総務課で集計した時間を加工して作成していますので、自校の状況のみを確認することはできていません。

(西委員)

校長としては、自校の状況を確認できた方が良いと思う。

(成吉教育総務課長)

校長には、年2回ではあるが、自校の教職員個々の集計データを提供しています。

(西委員)

校長としては、自校の状況のほかに、他校の状況もわかった方が良いと思う。

(小嶋子ども教育部長)

本市では、働き方改革のため、時間外在校等時間の数値目標を定めており、どの学校も目標達成のために努めていただいています。傾向として、大規模校は、小規模校は、といった特徴が出てきますので、押しなべて順位付けしていくことは、必ずしも適切ではないと判断

しています。

(家宇治教育長)

他にありませんか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようなので、次に移ります。

(家宇治教育長)

次に、報告③ 令和4年度糸島市立中学校第3学年の進路状況について を指導主事から報告をさせます。

(安部学校教育課教育指導係長兼指導主事 報告)

(家宇治教育長)

何かご質問がございましたら、お願いいたします。

(山口委員)

進路未定者のうち、高等学校に合格していたが、進学しなかった生徒がいると資料にある。これは、本人の進路希望と合致しなかったのか。或いは家庭の事情なのか。それとも進路指導上に過誤があったのか。どのようになっているのか。

(安部学校教育課教育指導係長兼指導主事)

高等学校に合格していたが、進学しなかった生徒については、学校では、本人や保護者の意向を踏まえ、可能な限り、進学することを指導しています。しかし、合格した後に、本人が進学しないということを選択した結果となります。

(家宇治教育長)

他にありませんか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようなので、報告を終わり、次に移ります。

(家宇治教育長)

次に、報告④ 令和5年度学校教育課事業指針計画について を指導主事から報告をさせます。

(安部学校教育課教育指導係長兼指導主事 報告)

(家宇治教育長)

何かご質問がございましたら、お願いいたします。

(松尾委員)

英語力推進計画について、質問があります。

今年の中学3年生の全国学力テストでは、スピーキングテストが含まれたのではないかと思うのですが、どうでしょうか。

(安部学校教育課教育指導係長兼指導主事)

そのとおりです。

(松尾委員)

東京都が来年の公立高校の試験からスピーキングのテストを導入するのですが、国も大学入試で英語の4技能の評価のため、スピーキングのテストを導入するつもりだったのですが、コロナ禍や受験料の問題等で、結局、共通テストは、リスニングとリーディングの二つになった経過がある。

ただ、東京都がスピーキングを高校の授業、テストに導入したということは、これから、他の道府県でも進み、広がると思っています。

例えば、英語の文法の方で言うと、授業で習う内容が、高校1年生の内容の一部が中学3年生に、中3の一部が中2に、中2の部分が中1に、中1の部分が小学校に下がってきている。このため、混乱する子どもが増えていると思う。小学校ではよかったのに、中学校では駄目だって言われた。その違いがわからなくて、英語嫌いがちょっと増えてきていると感じています。

もちろん、コミュニケーションを中心にすることがすごくいいことで、変に中学校の文法を一緒に入れては、逆にまた、難しいと思います。

小学校5・6年生にもなると、逆に知りたがります。どうしてこんな違うのかって。

でも、学校の授業だとそれが聞けないので、自分たちでもどうやっていいかわからない。そこで、混乱してしまって、逆に小学校6年生の時点で、英語が嫌いになったという話を聞いたりします。

その辺をきちんと指導してあげないと、スピーキングの壁が、すごく高く感じる子どもが増えるのではないかと思います。

英語では、せっかく英検などで4技能を試すことができ、すごく実力をつけられるテストになっていて、すごくいいので、もっともっとこれにトライする子どもが、増えて欲しいなと思うのですが、その前の時点で、英語に壁をつくってしまうと難しくなると思います。

(安部学校教育課教育指導係長兼指導主事)

中学校における、スピーキングのテストについては、本年度に導入されました。期間を区切り、5月の前半までに全ての学校で終了するようになっています。

また、今年は、タブレットを使用したC B Tになっています。

(野口学校教育課主幹兼指導主事)

小学校では、単元の最後に、英語スピーチのテストのようなものを設定されることが多くなっています。

また、それによって、現在形と過去形が混在したままスピーチを行っている可能性は多々あります。

小学校では、会話をする楽しさ、コミュニケーションの楽しさというものを先行するあまり、細かい文法については、詳しく指導しないというような風潮があったのは事実ではないかなと思いますので、この部分については、中学校に入った時の混乱を招いている要因ではなかろうかと思います。

(松尾委員)

なおさら、小学校中学校の連携を確実にしないと、小学校まで楽しかったのに、中学校では違うのだと思う子どもが出てくる。やはり、小中の連携すごく大事だと思います。

(野口学校教育課主幹兼指導主事)

前原東中校区の校区運営事業の中で、英語力推進の取組を行っています。それが今、各学校に取組データが送付されています。

前原中学校区についても、そのデータを基に、小中学校を通じた CAN-DO リストを作っており、これらを活用していくことで、課題の解決に寄与できるものと思っています。

(家宇治教育長)

今のような課題があることがわかっていますので、小中連携の授業づくりを、かなり力を入れていかないといけない。また、校区事業の中でもしっかりと連携していくというような形をとっていますので、また具体的に、今後、学校訪問もありますので、その際に見ていただいて、ご意見いただけると、各学校の取組みの参考になると思います。

各学校における取組状況については、把握のため調査をお願いします。

(山口委員)

3点質問します。

1点目は、学校間の学力格差の解消のためには、指導する教員の数が必要だと思います。現在の定数確保率を教えてください。

2点目は、ミライシードとは何か教えてください。

最後は、二丈中と福吉中で取組まれている、学級づくりと個別最適な学習による確かな学力の育成推進事業の具体的な事業内容を教えてください。

(金子教育総務課総務係長)

1点目の各学校における教員の定数状況についてですが、小学校については、定数欠員教員の定数に欠員はありませんが、育児休業代替や病気休暇代替等の短期間任用の代替教員の定数に欠員が生じています。

中学校については、定数欠員教員が二丈中と福吉中以外の学校に欠員が生じています。更に、初任者が研修等で出張する際の代替教員が、ほぼ全ての学校で欠員となっています。

(野口学校教育課主幹兼指導主事)

2点目についてです。ミライシードとは、本市が導入しています学習ドリル、学習支援アプリの名称になります。国語、算数、社会、理科の問題が収録されています。

また、英語のスピーキングテストも収録されているアプリになります。

(中村学校教育課教育支援係長兼指導主事)

3点目の質問を簡単に説明しますと、学級づくりと児童生徒の学力の関連性を数値化するのが、この事業の目的です。

今まで、教員は、感覚で学級づくりや学力向上に取り組んでいた部分があると思います。

故に、学級づくりの中で、SEL-8S 等のエンカウンターを通して、学級の和を作り上げていく。そのことが、学力の向上に繋がるという、相乗効果を検証するために、これらを数値化、可視化することで、その相関関係を確かめる事業となっています。

(家宇治教育長)

過去の統計から、若年教員が担任する学級の学力が少し低下します。何故かという、学級経営が上手くいっていない。

小学校での分析では、日頃から、落ち着きがない学級の学力は、同じ学年でも低下します。

だからこそ、そのような教員を支え、学級経営を確実にし、学力を向上させる。この取組を二丈中・福吉中から全市に広げていきたいと思っています。

(西委員)

4番目のコミュニティ・スクール推進計画について、平成29年度に始まり、5、6年経つのですが、課題にもありますように、学校運営協議会の構成員が固定化しており幅広く地域と連携する組織とする必要があると挙がっています。それから、基本方針と対策として、学校運営協議会の活性化、家庭や地域と連携した教育活動推進、コミュニティ・スクール推進委員会・実践講座の実施が挙がっています。

私もこういう対策が本当に必要と思うのですよ。

年数が経って、構成員が固定化されていく時期でもあろうと思うのですが、本当にコミュニティ・スクールの推進を実行していくため、機能的にやっていくためには、会議等の中で、学校側から、自分の学校はこういう課題を抱えているということを、地域の保護者、関係団体の方によくわかるように、要望した方がいいと思います。

そうすれば、地域の方に学校が期待することが、どういったことなのだと解ってもらえると思うのですよ。

そうして、地域が学校の問題意識をよく理解すれば、その解消にむけた活動を地域や家庭で効果的にやっていくような。実働部隊ですかね。そういう組織化を図ってもらいたいと思います。

昨年度の教育委員会会議で、地域の実働部隊を調べてもらったことがありました。そういうメンバーがずっと、本当に効果的に活動していくために、そういう各団体、組織の方に、よく理解していただけるような連携を、これからぜひ、実行していただきたい。

そうすれば、さらに、新しい方向で、コミュニティ・スクールも活性化していくものと思います。これは要望でございます。

(家宇治教育長)

実際、学校側から課題を提起して、協力依頼を求めるといったことは行われています。

地域とは連携しながら、子どもを育てていく雰囲気なり、組織と上手く連携するというようなことが大事なことと思います。

(宗委員)

7番目の部活動地域移行検討事業推進計画についてですが、始まったばかりと思うのですが、課題にもあるように、部活動に対し、生徒や保護者等からの過度な期待があると挙がっています。

私も周りの保護者から、先生方がどこまで携われるのか、どこまで携わっていただけるのか、どこまで要望していいのかわからないという声を聞きます。また、以前は、保護者の勝ちたいという思いが前面に出ていることで、子ども達にプレッシャーを与えていたことも目にしました。

資料には、体づくり、自己の健康マネジメントといった個人の目標を重視する必要があると挙がっています。

であれば、保護者に対し、部活動の地域移行について、どのような共有方法をとられていますか。

(中村学校教育課教育支援係長兼指導主事)

先週、金曜の夜に、部活動指導員と先生方に集まっていただいて、私から、もしくは校長の方から、この事業の趣旨を説明しました。

その中で、子ども達のためにとということで、地域から集まっていただいた各指導員の方々

になりますので、スポーツへの思いは、共有して指導いただいていると感じられました。

実際に、4月からスタートしており、基本的には土曜日か日曜日、どちらかということになります。大会等についても指導されています。

また教員が、指導できない日でも、部活動指導員の方が指導していることも聞いています。

そこに大きな混乱はなく、今のところ保護者の方にも、理解を得られながら、ただ、やはり今後ですね、書いてあるとおり、この1～2年間で課題をしっかりと見極めながら、どういう方向が子ども達の成長に、より良いものになるのかを検証していきたいと思います。

なお、定期的に、部活動指導員の方に集まっていただいて、ご意見をいただこうとも思っていますし、保護者の方にもアンケートをとりながら、いろいろと検証していきたいと考えています。

(家宇治教育長)

他にありませんか。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようなので、報告を終わり、次に移ります。

(家宇治教育長)

次に、報告⑤ 令和5年度糸島市教育センター教員研修事業について を指導主事から報告をさせます。

(安部学校教育課教育指導係長兼指導主事 報告)

(家宇治教育長)

何かご質問がございましたら、お願いいたします。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようなので、報告を終わり、次に移ります。

(家宇治教育長)

次に、報告⑥ 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について を学校教育課長から報告をさせます。

(吉永学校教育課長 報告)

(家宇治教育長)

何かご質問がございましたら、お願いいたします。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようなので、報告を終わり、次に移ります。

(6) その他

(家宇治教育長)

それでは、各課業務の主な取組状況について、各課長から順次報告させます。

(成吉教育総務課長、吉永学校教育課長から報告)

(家宇治教育長)

各課からの報告について、質問がありましたら、お願いいたします。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようですので、委員の皆様から何かありましたらお願いします。

(委員全員)

なし。

(家宇治教育長)

無いようですので、その他を終了いたします。

(家宇治教育長)

次回会議の日程ですが、次回の会議は、5月29日(月)に予定しています。

以上をもって、第1回糸島市教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。

糸島市教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、ここに署名する。

教育長

委員

(教育長指名委員)